

## 西の湖周辺におけるホンモロコ遊漁の採捕尾数の推定

亀甲 武志・岡本 晴夫・氏家 宗二

### 1. 目的

西の湖においてはH23年から電気ショックボートによる外来魚の集中駆除と水田を活用したホンモロコ・ニゴロブナの種苗生産放流事業が展開されている。その事業の成果もあり、ホンモロコの産卵が回復してきた。それに伴いH25年から西の湖周辺でもホンモロコの遊漁が急速に盛んになってきた。そこで、西の湖周辺での今後のホンモロコ遊漁の管理策を検討する基礎資料とするため、西の湖周辺での遊漁の実態と採捕尾数の推定を試みた。

### 2. 方法

西の湖周辺での釣りによるホンモロコ採捕尾数の推定は調査日を1次抽出単位、釣獲状況の聞き取り調査を行った遊漁者を2次抽出単位とした2段階抽出による。釣獲率や遊漁者数は時期ごとに変化したので、月ごとに推定した。遊漁者数は、遊漁者の多くが釣りをする午前10時から午後2時に車上から計数し把握した。聞き取り調査では聞き取りを行った段階での釣獲時間と釣獲尾数を聞き取った。投網、たもすくいによる遊漁者数についても同様に計数してから、聞き取りや採捕状況から単位時間あたり採捕尾数を推定した。

### 3. 結果

H26年3月中旬から5月中旬にかけて遊漁者数の計数と聞き取り調査を行った。釣りは西の湖流出河川である長命寺川沿いで、投網とたもすくいは西の湖流入河川である山本川と蛇砂川で行われていた(図1)。聞き取りの結果から一日あたり平均8時間釣りをすると推定された。同様に投網、たもすくいは午後から行う人が多く、一日あたり平均4時間行うと推定された。調査期間中の総遊漁者数は20人から70人で推移し、5月の連休以降

は減少した(図2)。たもすくいと投網では4月以降増加した。各遊漁による採捕尾数の合計は約21万尾と推定され、1尾あたり10.9gとすると約2.3トン採捕されていると推定された(表1)。

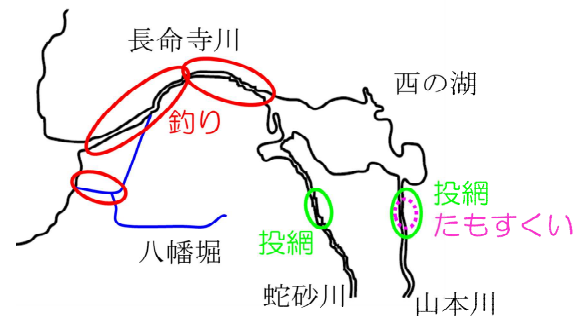


図1 西の湖周辺での遊漁による採捕

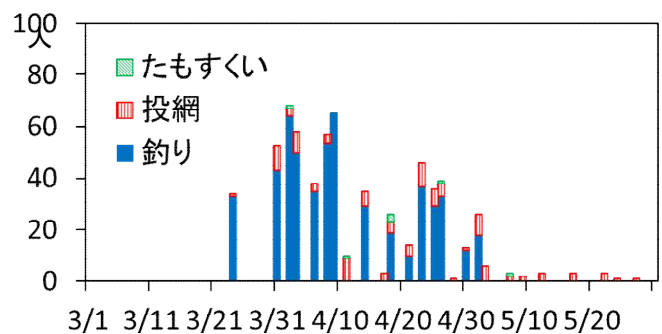


図2 調査期間中の遊漁者数の推移

表1 遊漁によるホンモロコ推定採捕尾数(尾)

釣り	25662
投網	185287
たもすくい	1007
合計	211956